



9月4日(金)、多くの支持者や職員が出迎えるなか、4期目に向けて上山町長が初登庁しました。大きな拍手で迎えられた上山町長は、職員や支持者の方から大きな花束を手渡されると笑顔を見せていました。

上山町長は4期目に向け、「湯浅をもっと良くしたいという思いを持って、残された課題を解決していきたい。」と抱負を語りました。



上山町長 4期目へ初登庁

の2点を上げさせていただきました。現在、認定子ども園につきましては、来年4月の開園に向け、工事を進めているところであります。

また、湯浅駅周辺整備の1環として、湯浅駅前複合施設「湯浅えき蔵」が完成し、10月からは図書館を含む施設の全面オープンとなります。今後は、J・Rが実施する駅構内のバリアフリー工事が年度内に完成する予定となっております。町としても、駅前駐車場の整備や旧駅舎の活用などを通じて、J・R湯浅駅及び「湯浅えき蔵」の利用者の利便性の向上と中心市街地の賑わいを取り戻すための拠点となるよう駅前周辺の整備を進めてまいります。

このほか、栖原地区の浸水対策として、先日起工式を執り行いましたポンプ場の改築工事や、公民館、老人憩の家、消防車庫の3施設を集約した「栖原コミュニティセンター」の建設工

事も始まっております。田地区におきましても、台風等の災害時の孤立集落の解消と周辺地域の産業の発展にも寄与する、出雲地区から国道42号につながる地域連携道路の整備を県とともに進めてまいります。社会福祉施設の高台移転につきましても、高齢者へのサービス向上はもとより避難所機能を備え、世代間交流もできるような一体的な整備を進めてまいります。

私は、これまでの12年間において、それぞれの時期における課題を1つずつ着実に解決することによって、あらゆる世代の町民の皆様が安心して安全に暮らせるまちの実現につなげてまいりました。これからの4年は、これまでの成果を活かしつつ、将来に向けて「誇れるまち 湯浅」を引き継いでいけるよう、目の前に残されている課題の解決に全力で取り組んでまいります。

上山章善町長 所信表明



任期満了に伴う湯浅町長選挙は、8月25日の告示日に立候補の届け出が現職の上山章善氏1名であったため、無投票での当選となりました。これにより上山町長は、4期目の町政を担うこととなりました。

令和2年第3回定例会の開催にあたり、上山町長が所信表明を行いました。町長の想いをお伝えします。

令和2年第3回定例会

町長所信表明 (一部抜粋)

私は、就任当初から「安心・安全のまちづくり」を掲げ、子供からお年寄りまで、あらゆる世代の町民の皆様が安心して安全に暮らせるまちづくりを進めてまいりました。その結果、湯浅小中学校の建替えや山田・田栖川・田村小学校の耐震補強を実施するとともに、老人福祉施設のなぎ園、消防組合として役場庁舎の高台移転も実現いたしました。また、子ども医療費無償化の対象を18歳まで拡充し、子育て環境の充実とともに障がい者差別や部落差別の解消のための条例を制定し、人権を大切にす

るまちづくりにも取り組んでまいりました。

平成29年には、「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地「紀州湯浅」が日本遺産に認定され、湯浅町の魅力を県内外に発信し、その結果、湯浅町を訪れる観光客も増えてまいりました。しかし、今年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響で、観光関連産業に大きな打撃を受けております。未だ事態の完全な収束には至っていないものの、同じく日本遺産の認定を受けている広川町とも連携し、まずは県内の方々を中心に湯浅町を訪れてもらい、段階を踏みながら多くの観光客でまちの賑わいを取り戻していきたいと考えております。

4年前には、3期目の大きな課題として、J・R湯浅駅周辺整備と保育所の整備